## 株主のみなさまへ 第88期中間のご報告

2011年(平成23年)4月1日~2011年(平成23年)9月30日





#### **Contents**

株主のみなさまへ 1
中期経営計画「OCEAN-15」策定… 3
事業別概況·地域別概況 · · · · · · 5
連結財務諸表(要旨) 7
TOPICS
会社概要/株式情報 10

PACIFIC 太平洋互業株式会社

#### ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、

厚く御礼申し上げます。

ここに、第88期中間期(第2四半期連結累計期間:2011年4月1日~ 2011年9月30日)における営業の概況についてご報告申し上げます。

2011年11月

代表取締役社長

小川信也

#### 当中間期の概況

当第2四半期連結累計期間(2011年4月1日~2011年9月30日) におけるわが国経済は、東日本大震災や原発事故の影響により、景気は一時的に大きく落ち込みましたが、寸断された供給網の修復が進むにつれ、企業の生産活動は回復の動きが見られました。しかしながら、欧米財政危機、新興国経済成長の鈍化、長期化する円高や株安の影響により、景気は引き続き下振れリスクを抱えた先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業分野であります自動車関連業界に おきましては、大震災直後に大幅に落ち込んだ自動車生産 は、自動車業界を挙げての復旧支援活動により、予想以上に



中間期の業績	222
連結売上高	332 億円
連結経常利益	6.3 億円
連結四半期純利益	5.6 億円

早い段階で回復いたしましたが、その生産台数は前年同期と 比べ大幅に減少しております。また、米国におきましても、 大震災による部品供給網寸断の影響により主要顧客の自動車 生産は前年同期に比べ減少し、市場拡大が続く中国でもその 伸び率は低下してきております。

このような状況の中、当社グループでは、大震災直後の稼動の大幅な低下に対し、生産の一直化・振替休日・休業等の生産体制の見直しや外部費用の内製化、投資・経費の徹底的削減などの「緊急固定費改善活動」を推進してきました。また、生産の回復過程におきましては、正常生産へのスムーズな移行に注力するとともに、『原革30活動(2012年度までに総コストを30%削減する活動)』の目標達成に向けて改善活動を推進し、収益確保に努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は332億 15百万円(前年同期比19.5%減)と減少しました。利益面では、経費削減や原価改善の効果、減価償却費の減少はあったものの、売上高の減少が大きく影響し、営業利益は4億 90百万円(前年同期比83.0%減)、経常利益は6億39百万円(前年同期比77.9%減)、四半期純利益は5億69百万円(前年同期比60.1%減)となりました。

尚、中間配当金につきましては、1株につき5円とさせて いただきました。

通期業績予想	750
連結売上高	750 <sub>億円</sub>
連結経常利益	38 <sub>億円</sub>
連結当期純利益	25 <sub>億円</sub>

#### 今後の見通し

当下半期の自動車関連業界は、東日本大震災により落ち込んだ生産が回復し、大増産を見込んでおりましたが、タイの洪水や欧州の債務危機問題、円高、株安の影響などで景気は下振れするリスクが存在し、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われます。タイの大規模洪水では、当社のタイ子会社への直接的な被害は発生しておりませんが、自動車メーカー各社が正常稼動するまでには時間を要すると予想され、今後業績への影響が懸念されます。

こうした厳しい経営環境の中で、ますます激化するグローバル競争に勝ち残るため、昨年、創業100周年への一里塚として、長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」を策定しました。また、長期ビジョンの具体的アクションプランとして活動を推進してきました中期経営計画「OCEAN-12」は、世界的な事業環境の変化を受け、新中期経営計画「OCEAN-15」(P3~4参照)へと今秋見直しを行いました。新たな目標に向かい、更なる企業価値の向上に努めるとともに、グループー丸となって超円高をはじめ「6重苦」と言われる状況を打破していきたいと考えています。株主のみなさまには引き続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### 中期経営計画

# 「OCEAN-15」策定

長期ビジョンの確実な実行をめざし、2015年の事業のあり方を明確にするため、中期経営計画「OCEAN-12」を「OCEAN-15」に改訂しました。

#### 長期ビジョン 「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」

長引く不況の中、自動車産業の急激かつグローバルな構造転換、地球規模の環境問題・エネルギー問題の深刻化、企業の社会的責任の拡大、グローバル化・技術革新の進化など、我々を取り巻く環境は予想をはるかに越えるスピードで大きく変化しています。こうした環境変化を大きなチャンスと捉え、創業80周年の節目を機に、創業100周年に向けての一里塚として、長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」を策定し、私たちグループの夢とミッションを明確にしました。長期ビジョンは、CSRを経営の最重要課題と位置付け、「5つの"シンカ"」で事業構造を革新し、「融合経営」による企業価値の向上をめざしています。



#### 中期経営計画 「OCEAN-15」策定

#### ■「原革30活動」と「OCEAN-15」

当社グループは、リーマンショック後の円高に伴う業績への影響を改善するため、「6つの革新」で総コストの30%を削減し、収益構造の革新をめざす「原革30活動」を推進しています。これらの活動に加え、長期ビジョンの具体的アクションプランとしてこの度見直しを行った新中期経営計画「OCEAN-15」は、トップクラスのグローカルな部品メーカーをめざして、「技術と海外」「ものづくりは人づくり」「CSRと環境保全」をキーワードに、長期ビジョン達成に向けた各種施策を5つの"シンカ"で具現化し、事業構造の革新と企業価値の向上をめざしています。リーマンショック以降は、限られたリソースで足元固めの基盤戦略構築を徹底してまいりましたが、「OCEAN-15」では、激化するグローバル競争に勝ち残るため、将来の成長に向けた「前向きな攻めの施策」へと舵をきってまいります。

### 中期経営計画「OCEAN-15」

#### トップクラスのグローカルな部品メーカーをめざす

深化 改善する力

#### QUALITY IMPROVEMENT

- TPS・自工程完結のレベルを上げ、世界品質を実現
  - 設備保全の強化と無人化を進め、高効率な生産性を追求
  - 匠の技の継承と先端技術習得による"モノづくり人財"の育成

#### COST INNOVATION 業界をリードする新材料・新工法の確立

キーワード

進化 革新する力

在庫・リードタイムを短縮した画期的ライン造り

環境に優しい次世代製品・工法の開発

技術と海外

ものづくりは人づくり

CSRと環境保全

新技術・事業を起こす力

#### TECHNOLOGY & BUSINESS

- 要素技術の複合化による新製品開発に挑戦
- CSカのアップとMAAによる事業の拡充
- 新拠点・グローバル生産体制の構築

真価

企業価値を高める力

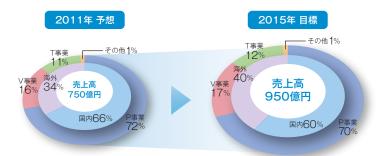
- **BRAND ENRICHMENT** 財務体質を強化し、資産価値を向上
- 環境負荷を軽減し、サステナブルな社会に貢献
- 経営を現地化し、グローカル融合経営を推進

信加 信頼を勝ち取る力

#### RESPECT & RESPONSIBILITY

- 経営の透明性を高めるCSR・コンプライアンスの遂行
- 地域と連携し、リスク管理・BCPを実践
- グローカル人財育成をめざしたWLBの推進

TPS...Toyota Production System MAA...M&A. Alliance BCP...Business Continuity Plan WLB...Work Life Balance



#### 2015年 目標

:950億円 連結売上高 連結経常利益率:6%台 海外売上高比率: 40%以上

P事業…プレス・樹脂加工 Ⅴ事業 … タイヤバルブ・空調バルブ T事業···TPMS(タイヤ空気圧監視装置)

### 事業別概況・地域別概況

69.8%

#### プレス・樹脂製品事業 売上高 231 億円 営業損失 0.5 億円

主に日本、米国において、東日本大震災の影響により主要顧客の自動車生産台数が前年同期に比べ大幅に減少したため、売上高は231億93百万円(前年同期比21.5%減)と減少し、営業損失は57百万円(前年同期は営業利益16億36百万円)となりました。

#### 売上高・営業利益



29.6%

#### バルブ製品事業

売上高 98 億円 営業利益 5 億円

東日本大震災による供給網の寸断は、主要顧客の世界規模での生産に影響し、主要市場が米国であるTPMS製品(直接式タイヤ空気圧監視システム)の販売が大きく減少しました。それに加え、円高の影響もあり、当事業全体の売上高は98億26百万円(前年同期比14.7%減)、営業利益は5億48百万円(前年同期比56.6%減)となりました。

#### 売上高・営業利益



#### 製品トピックス

#### 世界初"2槽式オイルパン"の開発

当社では、プレス・溶接・塗装の一貫生産ラインを構築し、 エンジン用のオイルパンを生産しています。オイルパンは、車 のエンジンの下部に搭載される部品で、エンジン部品の潤滑に 必要なエンジンオイルを溜め、オイルを外部に漏らさない役割 を果たしています。

このたび当社では、オイルパンを2槽化することで、エンジンオイルの温度上昇を早め、燃費向上とCO。削減を図る新製品

"2槽式オイルパン"を開発しました。また、オイル劣化とオイル交換のサービス性を考慮した構造が織り込まれているのも特長で、2槽式構造のオイルパンの開発・量産化としては、世界初の取り組みとなります。

#### 2槽式オイルパン

オイルパン内を2槽化することにより、 循環油量を削減します。その結果、油 温上昇を早め、エンジン部品の摩擦を 低減することにより、エンジンの回転 効率が高まり、燃費が向上します。



#### 地域別概況

15.4% 332 億円 東日本大震災による供給網 の寸断は、主要顧客の世界規模での生 産に影響し、日本国内のみならず米国、 中国での自動車生産に影響を与えております。

### 本

主に当社において、東日本大震災の影響により主要顧客の自動 車牛産台数が前年同期に比べ減少したことを受けて、売上高は 218億98百万円(前年同期比17.9%減)と減少し、営業損失は 58百万円(前年同期は営業利益14億73百万円)となりました。

地域別

売上高構成比

65.9%

#### 米

東日本大震災の影響に加え、円高の影響もあり、売上高は51億 9百万円(前年同期比41.0%減)と大幅に減少し、営業利益は33 百万円(前年同期比93.0%減)となりました。

#### アジア

中国では東日本大震災の影響により売上高は減少しましたが、 台湾では好調に推移したことにより、売上高は62億7百万円(前 年同期比4.6%増)、営業利益は4億15百万円(前年同期比48.1% 減)となりました。





※事業別および地域別の金額は、事業間・地域間取引の消去後の数値であります。

#### 海外トピックス

#### 中国・天津太平洋汽車部件有限公司の事業拡大

中国子会社の天津太平洋汽車部件有限公司(2005年4月設立)は、 第2期丁事として、プレス・溶接丁場ならびに金型丁場の増設丁事を行っ ています。自動車産業のグローバル競争が激化する中、金型・設備等の 現地化を推進し、原価低減によるコスト競争力強化を図っています。また、 中国におけるコストカ、生産技術力を評価していただき、2013年からは、 中国のローカル自動車メーカーへの納入が決定し、中国市場の需要拡大に 向けた取り組みを強化しています。



### 連結財務諸表 (要旨)

#### 連結貸借対照表

(単位:百万円、未満切り捨て)

<b>建和貝伯列</b>			
科目	2011年度中間期末	2010年度末	
(資産の部)			
流動資産	28,052	26,201	
現金及び預金	9,076	8,965	
受取手形及び売掛金	10,367	9,180	
たな卸資産	5,196	5,339	
その他	3,420	2,727	
貸倒引当金	△8	△12	
固定資産	54,251	55,732	
有形固定資産	38,266	38,118	
建物及び構築物	11,759	11,724	
機械装置及び運搬具	12,696	12,752	
工具·器具·備品	3,454	3,947	
土地	5,850	5,813	
リース資産	922	1,065	
建設仮勘定	3,584	2,815	
無形固定資産	228	239	
投資その他の資産	15,756	17,374	
投資有価証券	13,068	14,404	
その他	2,702	2,982	
貸倒引当金	△14	△12	
資産合計	82,303	81,934	

科目	2011年度中間期末	2010年度末
(負債の部)		
流動負債	21,800	21,024
支払手形及び買掛金	7,813	8,387
短期借入金	2,995	2,645 590
1年内返済予定の長期借入金	2,534	
未払金	5,038	5,017
その他	3,418	4,383
固定負債	22,144	21,783
長期借入金	16,638	15,470
繰延税金負債	3,471	3,948
その他	2,034	2,364
負債合計	43,944	42,807
(純資産の部)		
株主資本	37,801	37,501
資本金	4,320	4,320
資本剰余金	4,580	4,580
利益剰余金	29,233	28,932
自己株式	△332	△332
その他の包括利益累計額	△2,041	△919
その他有価証券評価差額金	3,758	4,665
為替換算調整勘定	△5,800	△5,584
新株予約権	63	_
少数株主持分	2,536	2,544
純資産合計	38,359	39,126
負債純資産合計	82,303	81,934

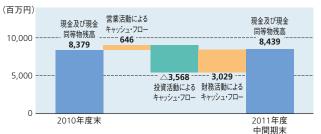
#### 連結損益計算書

(単位:百万円、未満切り捨て)

科目	2011年度中間期	2010年度中間期
売上高	33,215	41,263
売上原価	29,614	34,629
販売費及び一般管理費	3,110	3,742
営業利益	490	2,892
営業外収益	411	366
営業外費用	263	366
経常利益	639	2,891
特別利益	_	1
特別損失	17	536
税金等調整前四半期純利益	621	2,356
法人税等	46	904
少数株主損益調整前四半期純利益	575	1,452
少数株主利益	5	23
四半期純利益	569	1,428

#### 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円、未満切り捨て)

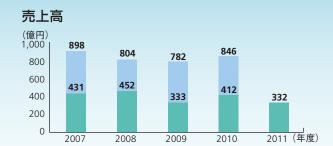


#### ■2011年中間期の概要

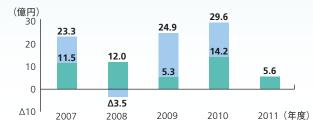
売上高は、日本・米国・中国の当社3主要市場共に、第2四半期では生産が回復したものの、第1四半期の震災の影響による減収幅が大きく、減収となりました。

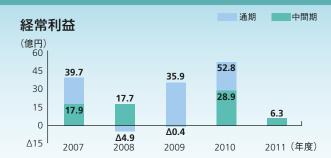
利益面では、原価改善、固定費削減活動等、収益確保に努めたものの、円高の影響や販売物量減少による大幅マイナスをカバーしきれず、2期振りの減益となりました。

#### ▍業績ハイライト

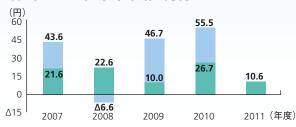


#### 四半期(当期)純利益





#### 1株当たり四半期(当期)純利益



### **TOPICS**



### 中国に自動車用プレス部品の新生産拠点設立

当社は、成長著しい中国自動車市場において更なる事業拡大を図り、グロー バル生産体制を強化するため、2011年11月、中国中南部地区に自動車用プレス 部品の新生産子会社を設立しました。

新会社は、三菱自動車工業(株)の現地合弁会社向けにボデー部品を生産し、 2012年7月の本格稼動をめざしています。



会社設立調印式

#### 新会社の概要

会 社 名: 長沙太平洋半谷汽車部件有限公司 所 在 地:中国湖南省長沙経済技術開発区

事業内容:自動車用プレス部品の製造・販売

資 本 金: 1,800,000US\$ 設立年月: 2011年11月

稼 動 開 始: 2012年7月(予定)

出 資 比 率: 太平洋工業グループ 47%

太平洋丁業株式会社 17%

太平洋汽門工業股份有限公司(台湾) 15% 天津太平洋汽車部件有限公司(中国) 15%

株式会社半谷製作所 47% 株式会社メタルワン 6%

TOPICS

### CSRレポート2011発行

当社は、社会から信頼され期待される健全な事業 活動こそがCSRの基礎であると認識し、社会の持続 的発展に貢献できる「真のグローカル企業」をめざ して、CSR経営の充実に取り組んでいます。

今秋発行しましたCSRレポート2011は、宮城県 栗原市の佐藤市長とのトップ対談をはじめ、経済 性・社会性・環境性の側面から、当社の様々な CSRの取り組みを紹介しています。また、冊子で 紹介しきれなかった内容については、WEBサイト を有効活用し情報を開示しました。





東日本大震災を乗り越えて… トップ対談 東北工場があったからこそ見えてきた絆

#### CSRレポートをご覧になりたい方は



太平洋工業 CSR

http://www.pacific-ind.co.ip/csr/report/

#### 会社の概要

社名太平洋工業株式会社Pacific Industrial Co., Ltd.本社所在地〒503-8603 岐阜県大垣市久徳町 100 番地

TEL 0584-91-1111(大代表) 設 立 1930年8月8日

資 本 金 4,320 百万円

従業員数 1,620名(連結:3,100名)

事 業 内 容 自動車部品、家電製品、電子機器製品等の製造

ならびに販売

#### 国内拠点

工場·事業所 西大垣工場、東大垣工場、北大垣工場、養老工場、美濃工場、九州工場、東北工場、PACIFIC TERA HOUSE、

PACIFIC TOYOTA CITY OFFICE

#### グループ会社

日 本 太平洋産業株式会社 ピーアイシステム株式会社 太平洋開発株式会社 太養興産株式会社 PEC ホールディングス株式会社 台 湾 太平洋汽門工業股份有限公司

韓 国 太平洋バルブ工業株式会社 太平洋エアコントロール工業株式会社

米 国 Pacific Industries USA Inc.
Pacific Manufacturing Ohio,Inc.

タ イ Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd.

中 国 青島太平洋宏豊精密機器有限公司 天津太平洋汽車部件有限公司

#### 株式の状況

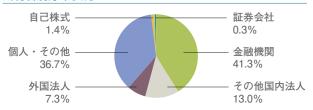
発行可能株式総数	90,000,000 株
発行済株式の総数	54,646,347 株
株主数	4,167 名

#### 大株主(上位10名)

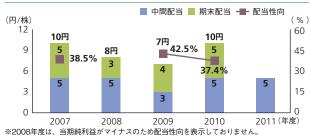
株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,679	4.97
株式会社大垣共立銀行	2,671	4.96
株式会社十六銀行	2,619	4.86
日本生命保険相互会社	2,457	4.56
第一生命保険株式会社	2,349	4.36
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,056	3.82
PECホールディングス株式会社	1,987	3.69
岐建株式会社	1,891	3.51
日本興亜損害保険株式会社	1,737	3.22
太平洋工業取引先持株会	1,644	3.05

(注) 出資比率は自己株式を控除しております。

#### 所有者別分布状況



#### 配当金の推移/配当性向(単独)



#### 株主メモ

事業年度4月1日~翌年3月31日

期末配当金受領株主確定日 3月31日

中間配当金受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 Tel 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所・名古屋証券取引所 市場第一部

单 元 株 式 数 1.000 株

証券コード 7250

公告の方法 電子公告により行う

公告掲載 URL

http://www.pacific-ind.co.ip/koukoku/ (ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告に よることができないときは、中部経済新聞および日本 経済新聞に公告いたします。)

#### 1単元(1.000株)に満たない株式をご所有の株主様へ

- ●「単元未満株式の買増請求制度」と「単元未満株式の買取請求制度」の いずれかをご利用いただけます。
- ●単元未満株式の買増請求制度とは、1単元(1,000株)に満たない株式 を有する株主様が、当社から1単元に不足している株式を買増し、 1単元の株式にできる制度です。
- ●単元未満株式の買取請求制度とは、当社が株主様から、1単元(1.000 株) に満たない株式を買取りさせていただく制度です。
- ●いずれのお手続きも、口座を開設されている口座管理機関(証券会社 等)においてお受けしております。特別口座に記録された株式につき ましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行において お受けしております。
- ●買増請求につきましては、毎年3月31日および9月30日のそれぞれ10 営業日前から当該日までの期間は受付を停止いたします。

### PACIFIC 太平洋互業株式会社

〒503-8603 岐阜県大垣市久徳町 100 番地 TEL 0584-91-1111 (大代表) FAX 0584-92-1804 www.pacific-ind.co.jp

#### 当社ホームページのご案内



### www.pacific-ind.co.jp

当社のホームページでは、企業情報、IR・投資家 情報、CSR・環境情報などさまざまな情報を掲載 しております。

> 表紙の絵は、当社社員の子供達が環境につい て描いたポスターです。未来を担う子供達の 環境意識高揚を図るため、毎年募集し、社内 ロビーに展示しています。



発行日:2011年11月29日

